

会 議 概 要

会 議 の 名 称	令和7年度第3回社会教育委員会議
開 催 日 時	令和7年10月28日（火） 13時30分 開会 14時30分 閉会
開 催 場 所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出 席 者 名	深谷委員長、山本副委員長、杉原委員、毛利委員、工藤委員 田渕委員、柴田委員、神尾委員、早川委員 9名 教委～阿部教育長、西海谷課長、中島参事、藤本主幹、仁木主査 鈴木主任
欠 席 者 名	平野委員、菅原委員、今野委員、橋本委員、米本委員（5名）
傍 聴 人 の 数	なし
会 議 の 内 容	1. 開 会 2. 教育長あいさつ 3. 議 事 報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について 4. その他 5. 委員長あいさつ・閉会
会 議 資 料	令和7年度第3回社会教育委員会議案
会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備 考	

てん末書

1 日 時

令和7年10月28日(火) 13時30分～14時30分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 多目的ホール

3 会議及び用務

令和7年度 第3回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員：深谷委員長、山本副委員長、杉原、毛利、工藤、田渕

柴田、神尾、早川 各委員（9名）

欠席：平野、菅原、今野、橋本、米本 各委員（5名）

教育委員会：阿部教育長、西海谷課長、中島参事、藤本主幹、仁木主査

鈴木主任

5 結果要旨

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 議 事

○報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

○その他 オホーツク管内社会教育振興セミナーについて

令和7年度社会教育事業及び関係団体等予定表について

以下 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について質疑

(深谷委員) 今年1年暑い日が続いたが、他地域から見て、湧別町は涼しい

日もあったりと、合宿するにはいい町ではないか。町として合

宿誘致に力を入れているか。

(教 育 長) 特に駅伝等では、トラックの往来などコース面で安全の確保など懸念される。また、宿泊施設も多くあるわけではないので、積極的な呼び込み等を行っていない。

(工藤委員) 昨年も話があったが、事業等が多数あり、重複している日もある。事業を運営していく面で人手不足になっていないか。

(仁木主査) 事業が重複している日などは、担当を分けて対応を行っている。また、事業を一つにまとめる工夫や管理職も対応しており、一人に負担が偏らないよう運営をしている。

(田淵委員) 議案 12 ページ、芸術鑑賞会について、ゆうべつ活性化実行委員会と良いもの見よう聞こう会と 2 つの団体が記載されているが、実施する講演会等の内容によって分かれているのか。また、資料を見るとうまく内容や日程がばらけているように見えるが、調整等も行っているのか。

(仁木主査) 記載の団体は町民で組織されたそれぞれの団体で、講師についてもそれぞれの団体で決めている。教育委員会ではそれらの団体の活動に対して補助金を支出している。また、内容については、日程や内容に対して助言等を行うケースもある。

(毛利委員) 以前地方の友人から、湧別町の講演会等に参加した際に、開場時間まで外で並ぶのではなく、別会場で椅子の設置等待機会場を用意してくれて、とても親切に対応してくれたとの話があった。これまで当たり前感じていたことが、そうではないと気付かされた。

4. 閉 会 終了-14 : 30-

令和7年度
第3回社会教育委員会議案

と き 令和7年10月28日(火)

午後1時30分

ところ 文化センターさざ波 多目的ホール

〈会議日程〉

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について P1～14

その他

- ・オホーツク管内社会教育振興セミナーについて P15～16
- ・令和7年度社会教育事業及び関係団体等予定表について P17

5. 委員長あいさつ ・ 閉会

湧別町教育委員会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	菅原 恵介	中湧別東町		
	杉原 武純	旭		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	今野 博友	中湧別南町		
	橋本 純子	中湧別中町		
	田渕 徹平	北兵村二区		
	米本 志真	北兵村三区		
	柴田 裕次郎	北兵村三区		
	神尾 周汰	中湧別東町		
	早川 大介	中湧別南町		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	西海谷 巧
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査	仁木 宏紀
社会教育G主任	鈴木 健太
社会教育G主事	三浦 茉畝
ふるさと館JRY・郷土館主査	林 勇介
図書館主査(湧別図書館)	北村 公樹
図書館主事(中湧別図書館)	石垣 杏優

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期 日 場 所	計 画 内 容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実 績 (状 況) 等	中期計画 推進項目
基 盤 整 備	①生涯学習 情報の収 集・提供・ 相談体制の 充実	年 間 —	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の 発行（毎月） ・遠軽地区情報紙「なな・なんと 情報」の発行（2カ月に1回） （佐呂間町が当番町） ・町ホームページによる情報の体 系的整理と提供 ・動画による事業記録を収集し活 用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整 備に努める。	「湧く湧く」 印刷製本費 1,584千円 「湧く湧く」 印刷製本費 785千円	○情報収集と提供 ・生涯学習情報誌「湧く湧く」の毎月発行 ・遠軽地区情報誌「なな・なんと情報」の偶数月発行。 ・町ホームページによる事業PR（4月～10月） まちな話題（4月～10月） ・動画により一部事業を記録保存し、活用法を模索して いる。 ○相談体制の充実 ・地域住民の学びと活動に関する相談に随時対応してい る。 ○インスタグラムによる事業周知（4月～10月）	10-1 10-3
	②指導者の 発掘・養 成・活用	年 間 —	主体的な学習と地域貢献との好循環を すすめるため、様々な分野から指導者を 発掘養成し、その活用を図る。	—		
	③団体活動 の支援・育 成	年 間 —	団体リーダーの養成を図るとともに、 団体活動が円滑に行われるよう支援を 行う。	—		
	④生涯学習 振興奨励事 業	年 間 —	グループ・サークル等が主体的に 行う講演会や鑑賞会などの学習活動に 対して助成を行う。（補助率 75%、ただし極めて公益性が高い 場合は100%）	補助金 3件 300千円 補助金 3件 186千円	●6/1 自主映画&食育講座×こどもLABO こどもLABO：50,000円 ●8/18 ～いいお母さんより幸せなお母さんに～ 「広げよう子育てのわ」浅井智子講演会 ママの笑顔を応援するおかんズ：100,000円 ●8/30～31 フラワーウォッチング2025～五鹿山の自然を知ろう～ ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL：36,000円	10-4
	⑤施設の整 備・運営・ 連携	年 間 —	公共施設再配置計画など上位計画 との整合を図りながら、施設の計 画的な補修や整備を行うとともに 事業連携・施設間連携により学習 効果の向上を図る。	別紙施設整備計 画のとおり	別紙社会教育施設整備計画に記載するとおり	10-2 10-5
家 庭 教 育	①家庭教育 研修会	11/30 (日) 文化センター TOM	家庭教育が困難な現状の共通理解 と家庭教育の重要性を啓発するた めの研修会。講演後に参加者交流 会を開催。健康こども課と連携 し、ニーズの把握に努め定着を図 る。PTA連合会に後援、家庭教育 サポート企業に協賛依頼予定。 開催場所や開催日時、方法につ いて検討する。	講師謝礼 100千円 需用費8千円 —	義務教育学校の児童・生徒を持つ保護者を対象とする。 児童・生徒のスマホ利用について考える「メディアとの 付き合い方」と「親子木工教室」の二本立ての研修会を 予定。ICT活用について考える機会とするとともに、 子育てについて参加者相互の情報交流を図る。 「メディアとの付き合い方」講師:岩井 孝浩氏(㈲イワイ) 「親子木工教室」講師:柴田 裕次郎氏(柴田建設㈱)	1-1
	②健康こども 課との事 業協力	年 間 —	健康こども課との打合せ会議を開 催し、子育て支援センター、子育 て世代包括支援センターとの協力 体制の充実を図る。	—	テーマの内容に伴い託児の必要に応じて打合せ会議等を行 う。	1-3 1-4
	③家庭教育 相談	年 間 相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての 不安や悩みについて身近に相談す る機会を提供するため、ホーム ページの充実を図る。	—	学校と教育AD間の連携により随時教育相談に対応して いる。	1-2
少 年 教 育	①児童宿泊 研修会	6/12(木) ～13(金) ネイバル 北見	社会性を培う機会として、全学園 5年生合同で、体験活動を実施。 担当教職員の事前打合せと反省会 も行い、目的や役割分担の共通理 解やノウハウの蓄積を図る。	参加費102千円 (4,000円×1/2 ×51人) 需用費15千円 バス借上料 150千円 参加費97千円 需用費23千円 バス借上料154千円	義務教育学校の5年生49名、教諭6名、教員2名が参加 各種体験活動を通して、社会性を培う機会を提供。 5/8、5/27担当者会議を開催。担当教諭の連携を密 に、スムーズな運営に努めた。また次年度に活かすため 7/24反省会会議を実施。	2-1 2-4
	②子ども会 の育成・援 助	年 間 —	青少年指導センターの活動支援と あわせ、単位子ども会や湧別地区 サポート協議会のあり方について 指導助言する。	補助金 170千円 補助金 170千円	子ども会員（257名）＋育成者（保護者215名）合計 472名（子ども会安全会加入者数より） 青少年指導センター事務局を教育委員会で支援（関連事 業に掲載）	2-2

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期 日 場 所	計 画 内 容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実 績 (状 況) 等	中期計画 推進項目
少	③第1回子ども会リーダー研修会	7/26(土) ～27(日) 五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	義務教育学校5年生～6年生18名、ジュニアリーダー17名、青少年指導員2名が参加。ジュニアリーダーを中心にプログラム（レクリエーション）を企画・運営。集団での生活を通してリーダー養成の研修や縦のつながりができた。	2-1 2-2 2-3
	④第2回子ども会リーダー研修会	R8.3/7(土) ～8(日) 紋別市生涯学習センター			12月ごろよりジュニアリーダー（CAPTAIN★TEEN）にて企画会議等、3月7日開催に向けて準備を進めていく。	
年	⑤百人一首教室	11月～1月 毎週土曜日 農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。義務教育学校（前期課程）～大人まで対象。	報償費24千円 需用費57千円	10月8日（水）実行委員会を実施。10月下旬より各義務教育学校を通じて参加募集。（全9回予定） 11月：15日、22日、29日 12月：6日、13日、20日、27日 1月：10日、17日	2-1 2-3
	⑥第55回新春交歓力タ大会	R8.1/18 (日) 農村センター		-	12月より各義務教育学校を通じて参加者募集。	
教 育	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度) 町内ほか	各学園4～6年生を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を学ぶとともに交流の輪を広げる。成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。新規体験として一泊二日での防災キャンプを予定。	報償費35千円 需用費40千円 手数料1千円 報償費10千円 需用費13千円 手数料1千円	義務教育学校4～6年生34名在籍 【活動日】 4/19 入塾式 22名 5/10 チュリップフェア・ボランティア 23名 6/21 昆虫教室 21名 7/5 川釣り・川遊び体験 23名 9/27～28 防災キャンプ 18名 10/11 北見工業大学おもしろ実験教室 24名 11/15 風・コマづくり 名 12/20 クリスマスケーキ作り 名 1/17 氷下釣り 名 2/28 流水探検隊 名 3/14 閉塾式 名 協力：ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL 湧別町観光協会、北海道電力、北海道開発局 遠軽地区広域組合消防署、 北見方面遠軽警察署、北見工業大学 NPO法人まるせつ昆虫同好会	2-1 2-2 2-4
	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/6(水) ～8(金) 新篠津村 (派遣)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。各学園5～6年生およびリーダーとして各学園7～9年生・高校生も参加。各学園5～6年生は参加経費の半額、リーダー7～9年生は全額町負担。	報償費140千円 需用費10千円 報償費133千円	湧別町20名、新篠津村10名の小学校・義務教育学校及びジュニアリーダーのボランティア11名が参加。新篠津村にて仲間づくりレクリエーションや食事の調理などを通して交流を深めた。	2-1 2-2 2-4
青 年 教 育	①青年団体の育成・援助	年 間 青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円 補助金 160千円	4/22総会を開催。（10名） 5/17チュリップフェアイベント開催(13名) ※会員数 15名	3-1 3-2 3-3 3-4
	②令和8年20歳の集い	R7 1/11(日) 文化センター さざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現学園6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費430千円 需用費83千円 -	参加者：76名（見込み） 式典終了後、成人者を中心とした交流会を実施予定。記念品として道産材を使用した「箸」を令和3年度（R4.1.9「20歳の集い」）から継続して贈呈している。式典終了後には、記念写真を出席者へ送付している。	3-1
成 人 教 育	①第49回湧別町民大学	9月～11月 全5回 文化センター TOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日の課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円 運営費助成 2,000千円	■実行委員会 6/5開催。 ■第1回 9/16 荻原 博子氏 125名 ■第2回 9/27 菅生 好身氏 91名 ■第3回 10/7 杉谷 拳士氏 271名 ■第4回 10/29 山本 命氏 ■第5回 11/21 坪田 敏男氏	4-1 4-2 4-3 4-4

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期 日 場 所	計 画 内 容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実 績 (状 況) 等	中期計画 推進項目
成人教育	②PTA団体への援助	年 間 —	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円 補助金 180千円	連合PTA事業運営費の補助を実施。	4-2 4-4
	③ボランティア団体との連携	年 間 文化センター さざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	はまなすボランティアサークルの自主研修の活動支援として研修会の引率を行い活動のサポートをすることができた。 ■研修日程 6/10(火) 9:00~16:00 ■研修場所 上川町 大雪酒造株式会社 他	4-2 4-4
高齢者教育	①チューリップ生きがいがい大学の開設	年間 (月1回程度) 文化センター さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費241千円 需用費36千円 印刷製本費 72千円 借上料524千円 借上料396千円	●学生110名在籍 クラブ数9(卓球クラブ新設) 【学習会】 4/22 開講式 64名 5/13 健康講座 モルック 35名 6/17 日帰り研修会 網走市 43名 7/17 町内講師講演 大規模災害にふれて 34名 8/5 上湧別学園視察 34名 9/1~2 宿泊研修 東川町・旭川市 26名 10/16 町外講師講演 養蜂家の仕事 35名 11/13 芸術鑑賞 懐かしのレコード鑑賞会 名 12/4 クラブ活動発表会 名 1/16 映画観賞会 名 「あの花が咲く丘で君とまた出会えたら」 3/4 閉講式・お楽しみ交流会 名 文集「生きがいがい」第7号発行	5-1 5-2 5-3 5-4
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年 間 学校ほか	学校からの求めに応じ、小・義務教育学校、中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—		
	③アクティブシニア向け事業	年 間 文化センター さざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。チューリップ生きがいがい大学クラブの方々にも講師として携わっていただき、生きがいがい大学の繋がりが強化を図る。	報償費288千円 報償費36千円	○短期大学事業 ◆新聞紙創作(第1期) 第1期 4/16, 4/30, 5/14, 5/28, 6/11, 6/25 4名 ◆みんなで楽しむ合唱(第2期) 第2期 7/9, 8/6, 9/10 3名 ◆シニアスマホ講座(第3期) 第3期 10/23 11月2回予定 10名 第4期 継続実施については未定 ◆お菓子作り講座(案)(第4期~) 第4期 1月~	
	④いろいろ触ってみよう!スマホ教室	11/25(火) 26(水) 文化センター さざ波ほか	デジタル活用向上のためスマートフォン教室を開催する。 ①スマートフォンを安全に使うためのポイント ②デジタルリテラシーを身につけて安心・安全にインターネットを楽しむ	自治体負担なし 総務省「デジタル活用支援推進事業」	11月25日(火) 午前の部 文化センターさざ波 午後の部 文化センターTOM 11月26日(水) 午前の部 上湧別農村環境改善センター 講師: 桑原電送(株) ドコモショップオホーツク店 八重樫 亜有子氏	
社会教育委員	①社会教育委員研修	随 時 管内	研修を通じて委員としての資質向上を図り、地域における社会教育活動の充実に資する。 管内社会教育委員連絡協議会総会 管内 北海道市町村社会教育委員長等研修会 札幌市 遠軽・紋別地区社会教育委員研修会 遠軽町 管内社会教育振興セミナー 津別町 北海道社会教育研究大会 今金町 生涯学習実践活動交流セミナー 札幌市	社会教育委員 報酬141千円 費用弁償 181千円 社会教育委員 報酬6千円 費用弁償 30千円	・5/9(金) オホーツク管内社会教育委員連絡協議会 (事務局1名出席) ・7/7(月)~8(火) 札幌市 北海道市町村社会教育委員長等研修会 (山本副委員長、事務局1名出席) ・10/4(土) 遠紋地区社会教育委員等研修会 (毛利委員、米本委員、事務局1名出席) ・11/7(金) 今金町 (田淵委員、神尾委員、事務局2名出席予定) ・11/29(土) 津別町 (深谷委員長、杉原委員、菅原委員、事務局1名出席予定) 北海道社会教育研究大会 ・2/26(木)~27(金) 札幌市 地域生涯学習実践活動交流セミナー	10-5

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期 日	計 画 内 容	予算額	実 績（状 況）等	中期計画 推進項目
		場 所		実績額 (事業終了分のみ)		
芸 術 ・ 文 化 活 動 の 振 興	①文化団体の育成援助	年 間	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円		6-2 6-4
		—		補助金 300千円		
	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年 間	良いもの見よう聞こう会等の活動支援	補助金 10,000千円	①良いもの見よう聞こう会 1公演 ②ゆうべつ活性化委員会 1公演	6-1 6-2 6-4
		文化センターTOM・さざ波		補助金 3,928千円		
	③キッズアート鑑賞会	7/22(水) 10:00-	幼児対象 公演内容 めっさくらもっさくらどおんどん	公演料 500千円	劇団風の子～「めっさくらもっさくらどおんどん」 ■日時：7/22 10:00～ ■場所：文化センターさざ波多目的ホール ■観覧者数：児童 129名 保育士16名 一般観覧者0名 合計145名	6-1
		文化センターさざ波		公演料 495千円		
大 会 の 開 催 等	④ジュニアアート鑑賞会	9/25(木) 10:00-	前期課程全学年対象 公演内容 ホラネロコンサート	公演料 500千円	ホラネロコンサート ■日時：9/25 10:00～ ■場所：文化センターさざ波 ■観覧者数：生徒 300名 教員40名 合計340名	6-1
		文化センターさざ波		495千円		
	⑤ティーンズアート鑑賞会	9/11(木) 10:00-	後期課程全学年対象 公演内容 楽！らくごライブ	公演料 1,000千円	楽！らくごライブ ■日時：9/11 10:00～ ■場所：文化センターさざ波大ホール ■観覧者数：生徒 131名 教員29名 合計160名	6-1
		文化センターさざ波		495千円		
	⑥文化芸術作品等の奨励	年 間	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	(1)文化センターさざ波ギャラリー展示 ①5/12～25 折野勝「湧別の自然風景・地域の名所展」 43名 ②6/24～7/6 亀岡トモ子・吉田妙子「二人展」 224名 ③10/8～10/26 楽々絵手紙の会「絵手紙展」 ④11/20～11/30 アトリエ・ワタナベ「絵画展」 (2)文化センターTOMギャラリー展示 常設展示～写真、俳句、友好都市交流	6-2 6-3 6-4
		文化センターTOM・さざ波				
大 会 の 開 催 等	⑦カルチャー教室	年 間	子どもから大人までを対象に興味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	①夏休み子ども木工教室 日時：8/5 9:00～ 場所：老人憩いの家木工室 参加者数：11名	6-1
		町内施設		講師謝礼 10千円		
	①第40回サロマ湖100kmウルトラマソン	6/29(日)	100kmスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路上） ※40回記念大会として実施	負担金 3,000千円	100kmの部 出走者数3,343名 完走者1,952名 完走率58.4% 50kmの部 出走者数 515名 完走者 396名 完走率76.9%	9-1 9-2 9-3 9-4
		湧別総合体育館裏		負担金 3,000千円		
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2025」	10/11(土)～12(日)	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,874千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,174千円 歳出総額 3,376千円	従来どおりの組織体制や運営体制の確保が困難となったため、今年度は中止。	9-1 9-2 9-3 9-4
		湧別総合体育館		—		

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期 日 場 所	計 画 内 容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実 績 (状 況) 等	中期計画 推進項目
大会 の 開 催 等	③第50回 町民300歳 バレーボール 大会	12/7(日) 中湧別総合体育館・湧別総合体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会 ※50回記念大会として実施	消耗品195千円 食糧費33千円 —		9-1 9-2 9-3 9-4
スポ ー ツ の 教 育 ・ 講 習 ・ 会 社 業	①夏の短期 水泳初級教室	8/6(水) ～8(金) 湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田 千秋 (トッカリ湧波会) 小橋 百合香 (スポーツ推進委員) 対象：各学園1～3年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円 スポーツ推進委員 報酬10千円	「全く泳げない子」や「顔に水をつけるのが怖い子」などの初級者を対象に実施した。 初級者の中でも、参加者のレベルに合わせてグループ分けを行い、1年生～3年生までの28名が参加。 8/6～8：延べ65名	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ニュース スポーツdeあ そぼ「モ ルック大 会」	9/13(土) 中湧別屋内 ゲートボール 場	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。アクティブチャレンジ期間中に合わせてモルック大会を実施する。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：町内に在住の方	スポーツ推進委員 報酬32千円 スポーツ推進委員 報酬32千円	今年度はゆうべつアクティブチャレンジの一環として「モルック大会」を行った。モルックを通して、子どもから高齢者までを対象に世代を超えたコミュニケーションづくりを目的として実施した。 参加チーム：18チーム 延べ54名 ※指導者 スポーツ推進委員5名	
	③ジュニア スケート教室	R8, 1/6(火) ～8(木) 芭露スケート リンク	町内の各学園(1～6年生)に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保 拓也(芭露) 松本 桃子(スポーツ推進委員) 藤本 祐司(教委職員) 三浦 茉畝(教委職員) 対象：各学園1～6年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬10千円 —		
	④運動・ト レーニング 指導	4月～3月 湧別総合体育 館ほか	町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。今年度より「ゆうふいっと。」と事業名を定め、町民への認知度を高めるとともに参加者の増加に努める。また、「ゆうふいっと。プラス」として夜にも開催し若年層への参加も促していく。新たに「水中エクササイズ」を実施し、水中で正しい運動方法や体力づくりを図るとともに、湧別プールの利用促進に努める。 ■ゆうふいっと。 ・開催回数：月3回 ・講 師：三浦 茉畝(教委職員) ■ゆうふいっと。プラス ・開催回数：月1回 ・講 師：外部委託 ■水中エクササイズ ・開催回数：2回(9/30、10/14) ・講 師：三浦 茉畝(教委職員)	委託料 501千円 委託料 154千円	幅広い年齢層の参加があり、参加者に合わせたトレーニングを実施している。 「ゆうふいっと。」 ■4/3 29名、4/10 9名、4/17 26名 ■5/16 20名、5/22 8名、5/29 19名 ■6/5 3名、6/19 8名、6/11 中止 ■7/3 16名、7/10 中止 ■8/6 5名、8/20 中止、8/28 11名 ■9/4 10名、9/9 中止、9/26 9名 ■10/2 12名、10/8 4名、10/30 名 「ゆうふいっと。プラス」 ■5/21 15名 ■6/4 15名 ■7/2 12名 ■8/13 7名 ■9/10 11名 ■10/15 6名 水の抵抗を利用した運動や水中ウォーキングの実践により、効果的な運動方法を習得することができた。 「水中エクササイズ体験」 ■9/30 3名、10/14 3名	
	⑤湧別町・ レバンガ北 海道スポ ーツ推進事業	4月～3月 湧別総合体育 館ほか	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただく。また、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらう。 予定事業 ①ミニバス少年団、各学園・湧別高校バスケットボール部の定期巡回指導 ②学校授業訪問や町主催事業への参加	委託料 2,574千円 委託料 330千円	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただき、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらった。 (1) 上湧別学園訪問 ■日 時 7/4(金)10:30～13:10 ■対 象 上湧別学園5,6年生 (2) バスケットボール教室 ①4/12(土)湧別総合体育館 ・10:00～12:00 湧別ミニバス少年団22名 ・13:00～15:00 ゆうべつ・上湧別学園バスケット部13名 ②5/24(土)湧別総合体育館 ・10:00～12:00 ゆうべつ・上湧別学園バスケット部17名 ・13:00～15:00 湧別ミニバス少年団20名 ③8/1(金)湧別総合体育館 ・9:00～11:00 ゆうべつ・上湧別学園バスケット部20名 湧別高校バスケット部5名	9-1 9-2 9-3

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
スポーツ推進委員事業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	各学園(1～3年生)を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室(上湧別百年記念公園広場) 6月 器械体操(ゆうべつ学園) 8月 キャンプ(湧別総合体育館裏) 9月 五鹿山マラソン(五鹿山スキー場) 10月 タグラグビー(湧別総合体育館) 11月 バスケットボール1(湧別総合体育館) 12月 バスケットボール2(湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー(芭露スケートリンク) 2月 バドミントン(湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式(湧別総合体育館) 指導者:スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象:各学園1～3年生	講師謝礼 器械体操 20千円 かけっこ教室 15千円 タグラグビー 5千円 バドミントン 5千円 スポーツ推進委員報酬268千円	小学校・義務教育学校1～3年生55名 スポーツ推進委員が中心となり、様々なスポーツを実施している。	9-1 9-2 9-3
	②巡回スポーツ指導	随時 町内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員報酬13千円		9-2 9-3
スポーツ推進委員事業	③スポーツ推進委員研修	随時 管内 道内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 湧別町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 湧別町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 岩内町	スポーツ推進委員報酬218千円 費用弁償 91千円 スポーツ推進委員報酬45千円 費用弁償 57千円	・5/13(金)清里町 オホーツク管内スポーツ推進委員連絡協議会(石川委員長、事務局1名出席) ・10/11(土)岩内町 北海道スポーツ推進委員研究協議会(石川委員長、海谷委員、事務局1名出席) ・11/15(土)～16(日)湧別町 オホーツク管内社会体育振興セミナー兼 遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員研修会	9-2
団体活動の育成支援等	①少年スポーツ団体の育成援助	年間 —	少年団本部への補助	補助金600千円	湧別町スポーツ少年団本部への補助	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年間 —	体育協会への補助	補助金671千円 補助金671千円	湧別町体育協会への補助	
	③大会出場助成	年間 —	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 (湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金 2,000千円 補正4,400千円 補助金 4,448千円	14件(個人10件、団体4件)	9-2
	④合宿誘致助成	年間 各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,854千円 補助金101千円	1件 別紙関連事業のとおり	9-1

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額	実績（状況）等	中期計画 推進項目
				実績額 （事業終了分のみ）		
施設の整備活用その他	①施設の整備	年間	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
		各施設				
	②施設の活用	年間	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 60千円		
		各施設				
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時	広報周知等インターネット（スポあんネット）にて加入する。	手数料1千円	ホームページやかかわらばん等において周知し、保険の加入促進を図った。	9-2
		—		手数料1千円		
図書館	①図書館資料の収集、整理、保存	年間	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存 ○図書館システム機器更新	資料費（図書、雑誌、新聞、視聴覚） 8,000千円	<蔵書冊数> ・図書 R7 中湧別 79,808冊+湧別 72,497冊= 152,305冊 (R6 中湧別 78,522冊+湧別 70,525冊= 149,047冊) ・雑誌 R7 中湧別 58誌 湧別 46誌 (R6 中湧別 56誌 湧別 45誌) ・新聞 R7 中湧別 7紙 湧別 4紙 (R6 中湧別 8紙 湧別 5紙) ・視聴覚資料 R7 中湧別 1,028点+湧別 1,742点=2,770点 (R6 中湧別 1,077点+湧別 1,740点=2,817点) ・デジタル化 R7 中湧別 0点 湧別 2点 (R6 中湧別 0点 湧別 0点)	7-1
		両館				
	②利用促進、読書機会の提供	年間	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		<来館者数> R7 中湧別 5,177人+湧別 2,721人= 7,898人 (R6 中湧別 5,047人+湧別 2,714人= 7,761人) <貸出人数> R7 中湧別 2,768名+湧別 1,546名= 4,314名 (R6 中湧別 2,931名+湧別 1,550名= 4,481名) <貸出冊数> R7 中湧別 11,121冊+湧別 5,903冊= 17,024冊 (R6 中湧別 12,203冊+湧別 6,178冊= 18,381冊)	7-2
館動		年間	・インターネットによる情報発信を行う。 デジタル資料の公開 事業のお知らせ 司書によるおすすめ本の紹介（新着図書案内） 図書館だより 児童向け情報発信		・ホームページの更新 ・図書館だよりの更新 ・新着図書案内の更新（月2回発行） ・としょかんたより（児童向け）	
			宅配貸出サービス（月2回） ・来館が困難な町民に対して個別に配送貸出を実施		・登録者（会員制/月2回宅配） R7 9名 (R6 1名) ・貸出実績（延べ数） R7 35名 148冊 (R6 13名 75冊)	
		両館	・マイナンバーカード連携の啓発 現行図書館システムの利用者番号とマイナンバーカードを連携することにより、マイナンバーカードでも図書等の貸出が可能となる。		・令和6年9月4日運用開始（前年度比較なし） ・実績 登録者数 15名 貸出人数 86名 貸出冊数 280冊	

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
図書館	③ブックスタート	年間	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート(月1回) 絵本2冊と手作りバックの配布 4ヶ月児対象 健診時に絵本とバックをメッセージと共に配布 ブックスタートプラス(年2回) 絵本1冊とブックガイドの配布 5~6歳児対象 就学時健診時に絵本とブックガイドを配布 協力(バック) ルピナスの会(バック本体) 湧別高校ボランティア部(名札) 	資料費(絵本) 142千円	<ブックスタート> ・実績(延べ数) R7 20名(R6 12名) R7. 4月 なし 5月 4名 6月 5名 7月 5名 8月 3名 9月 3名 R6. 4月 なし 5月 3名 6月 1名 7月 3名 8月 2名 9月 3名	7-2
		健診会場				
	④絵本くらぶ	年間	絵本の宅配(月1回) 3歳までの乳幼児がいる家庭に おすすめ本セットを宅配(登録制)		<絵本くらぶ> ・登録者(会員制/月1回宅配) R7 14名(R6 17名) ・貸出実績(延べ数) R7 84名 420冊(R6 93名 465冊) R7. 4月 14名 70冊 5月 14名 70冊 6月 14名 70冊 7月 14名 70冊 8月 14名 70冊 9月 14名 70冊 R6. 4月 15名 75冊 5月 15名 75冊 6月 15名 75冊 7月 15名 75冊 8月 16名 80冊 9月 17名 85冊	7-3
		両館				
活動	⑤移動図書館車の運行	年間	<ul style="list-style-type: none"> 移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 児童、生徒、職員等が乗車して利用する以外に、一部ステーションでは図書館職員が選本したセット配本を行う。 <ステーション> ・認定こども園、保育所 3か所(年8回) ・児童センター 5か所(年8回又は年4回) ・子育て支援センター 1か所(年8回) ・学校 3か所(年8回)		・乗車(延べ数) R7 235名 1,086冊(R6 377名 1,685冊) R7 R6 4月巡回なし(準備期間) 4月巡回なし(準備期間) 5月 47名 243冊 5月 99名 458冊 6月 60名 279冊 6月 99名 314冊 7月 66名 259冊 7月 90名 365冊 8月 8名 43冊 8月 9名 185冊 9月 54名 262冊 9月 80名 363冊 ・配本(延べ数) R7 177名 3,321冊(R6 440名 5,340冊) R7 R6 4月巡回なし(準備期間) 4月 6名 170冊 5月 41名 761冊 5月 258名 1,924冊 6月 44名 820冊 6月 52名 1,070冊 7月 49名 940冊 7月 名 冊 8月 5名 100冊 8月 名 冊 9月 38名 700冊 9月 名 冊	7-3
		両館				
活動	⑥学校図書館支援	年間	<ul style="list-style-type: none"> クラス配本 学校図書館用図書の購入支援 学校図書館レイアウト相談 学校図書館蔵書管理、蔵書計画 図書館見学の受入 職場体験の受入 読書オリエンテーション 家読おすすめ絵本リスト作成配布 読書通帳の提供 		・クラス配本(5月開始~毎月交換) ・学校図書館用図書の購入支援(5月~購入支援) ・学校図書館蔵書管理(購入・寄贈・除籍/随時管理) ・図書館見学 5月 芭露学園1~2年生 18名 6月 上湧別学園1年 22名 上湧別学園2年 29名 9月 職場体験 湧別高校2年 2名	
		町内学校				

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期 日	計 画 内 容	予算額	実 績（状 況）等	中期計画 推進項目
		場 所		実績額 (事業終了分のみ)		
図 書 館	⑦古本コー ナー	年 間	・古本、古雑誌のリサイクル活 動。		<古本コーナー> ・中湧別 R7 272名 863冊 (R6 237名 622冊) ・湧別 R7 184名 837冊 (R6 256名 1,307冊) ・合計 R7 456名 1,700冊 (R6 493名 1,929冊)	7-2 7-3
		両 館				
	⑧特別展示	4月～5月	・こどもの読書週間特別展示		・中湧別図書館 4/10～5/31 「なりきりおすしやさん」	
		両 館			・湧別図書館 4/25～5/31 「児童図書ランキング」 6/21～9/28 「なりきりおすしやさん」	
		10月 中湧別図書館	・絵本原画展示（遠軽紋別地区公 共図書館共同事業）	著作物使用料 35千円	・中湧別図書館 10/4～10/18 「おとうさんのこわいはなし」（か とうまふみ／作・絵）	
		9月～11月 両 館	・町民大学講師著作展示		・町民大学講師著作本展示 9/3～11/30 講師関連本紹介	
		10月～11月 両 館	・秋の読書週間特別展示		・中湧別図書館 11/4～12/7 「おばけやしき in 中湧別図書館」 ・湧別図書館 10/26～11/30 「文芸エクラ大賞2025」紹介展 示	
		年 間 両 館	・テーマ：年中行事		・テーマ展示 ・年中行事展示	
		年 間 両 館	協力展示（展示スペースの貸出）		・中湧別図書館 6/27～7/8 「教科書展示」（教育総務課）	
	⑨連携・ ネットワー ク	年 間	・読み聞かせ活動ボランティア団 体 読み聞かせサークル「りんごっ こ」 ・リーディング倶楽部たんぼぼ 湧別高校ボランティア部 ・読み聞かせ等活動支援 ゆうべつ学園「朝の読み聞かせ 会」 （リーディング倶楽部たんぼぼ） 中湧別図書館読み聞かせ会 （りんごっこ、湧別高校ボラン ティア部） ・その他		・リーディング倶楽部たんぼぼ 毎週水曜日 ゆうべつ学園 1～6年生「朝の読み聞か せ会」 毎週水曜日 本の修理ボランティア ・りんごっこ 月2回土曜日 中湧別図書館「読み聞かせ会」 ・湧別高校ボランティア部 月2回土曜日 中湧別図書館「読み聞かせ会」 壁画制作（中湧別図書館おはなしコーナー設置） ・ルピナスの会 ブックスタートバックの提供（在庫分） ※バック製作は終了	7-3'
		会議3回 研修1回 湧別図書館		図書館協議会 委員報酬 80千円 費用弁償 8千円 図書館協議会 委員報酬 16千円 費用弁償 2千円	・図書館協議会委員 6名 6/3 第1回図書館協議会会議 5名出席	
		7月～9月 両 館			・「青少年のための200冊」等展示（両館） ・キャンペーン読書期間 7/26～8/24 ・事前登録者 11名 （内訳 中湧別 9名 湧別 2名） ・達成者 8名 （内訳 中湧別 4名 湧別 4名）	

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
文化財保護活動	①文化財の保護(1) 埋蔵文化財	年間	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認(遺跡パトロール) ・周知資料(台帳等)の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居群の調査報告書 ・総括報告書の発行(3月下旬) ○シブノツナイ竪穴住居群の史跡範囲変更 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	印刷製本費 2,145千円	○開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護活動 ・埋蔵文化財包蔵地の照会:3件 ・事前協議1件(過年度継続協議、他4件) ・所在調査1件 ・試掘調査3件 ・工事立会0件、慎重工事0件 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認作業(遺跡パトロール)随時実施 ・周知資料(台帳等)の内容確認と修正 ◎シブノツナイ竪穴住居群の保護 ・発掘調査総括報告書の刊行(3/20) ・道史跡範囲の変更準備(面積測量) ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 第一回:9/25 委員3名、町教委2名、 オブザーバー2名(道教委1名、文化庁1名) 第二回:1月下旬(予定)	8-1
		町内各所				
	②文化財の保護(2) 自然関連	年間	○北海道指定文化財アクセシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続(死亡・はく製・調査) ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		○(道指定)天然記念物 ・佐呂間湖畔鶴沼のアクセシソウ群落 経過観察:9月実施 ○(国指定)天然記念物 ・オジロワシ ・タンチョウ 手続(死亡・はく製・調査):0件	
		町内各所				
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年間 郷土館・ふるさと館JRY	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		○博物館資料の寄贈受入 ・寄贈資料受入7件(屯田関係資料ほか) ○文化財の認定と取得 ・埋蔵文化財の譲与申請:1件(予定) 令和6年度発掘調査出土資料	8-2
	②博物館資料(2) 整理・保管	年間 郷土館・ふるさと館JRY・収蔵庫	○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ・試掘調査等出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫管理 ・文書資料の整理 ・資料外保管物の処分 ・資料移動(旧邑小体育館等) ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務		○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・保存環境の整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 ・JRY収蔵量増加 ○収蔵資料の特別利用許可 ・0件	
	③博物館資料(3)展示	年間 郷土館・ふるさと館JRY	○郷土館 ・企画展:発掘調査速報展(仮) ○ふるさと館JRY ・常設展示更新:解説パネルの追加と更新 ・収蔵展示室整備		【郷土館】 ○展示 ・「令和6年度発掘調査速報展」 6/27(金)~12/26(金) ○入館者数(9/30時点) ・403名(大人341名、内町民18名、幼児~高校62名、内町民56名) 【ふるさと館JRY】 ○常設展示更新 ○入館者数(9/30時点) 1,997名(大人1,686名、内町民109名、小学~高校311名、内町民96名)	8-2

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
博物館活動	④調査研究	年間 —	【博物館資料（開拓期）の調査・関連事項の研究】 ・開拓期の衣食住 ・兵制度 ・冬季の生活 【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】 ○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 ・シブノツナイと他の竪穴群との比較研究 ・古環境復元、食性解明の自然科学分析 ○教材研究 ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他（大学等研究者との共同研究） ・北海道大学考古学研究室の発掘等調査支援（2年目） 対象遺跡：川西オホーツク遺跡		【博物館資料（開拓期）の保存・活用】 ○保存 ◎屯田資料 ・収蔵資料の保存に関する調査研究（害虫等） ・資料清掃および注記 ○活用 ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬期の生活 【埋蔵文化財、博物館教育】 ○事例研究 ・シブノツナイと道内竪穴住居群の比較 ○自然科学分析（シブノツナイ関係） ・古環境復元 岡孝雄（北海道総合地質学研究センター） ・年代測定と食性分析 國木田大（北海道大学准教授） ・土器圧痕分析 太田圭（東京大学助教） ・黒曜石産地推定 大塚宣明（札幌学院大学准教授） ○教材研究 ・遺跡散策ガイドブック『遺跡のミカタ』の更新 ・シブノツナイ竪穴住居群案内パンフの改訂版 ○調査支援 ・北海道大学考古学研究室の発掘調査 対象遺跡：川西オホーツク遺跡の調査 調査期間：8/12～19（3年計画の内、2年目）	8-2
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修会・講座	年間 郷土館・ふるさと館JRY	【学校授業・研修会・講座】 ○開拓の歴史 (道具の変遷や機能の紹介) ・労働体験（鋸・斧・鉋） ・開拓期の衣体験 ・屯田生活体験館の活用 ○先史文化 (文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供) ・先史文化の工夫を学ぶモノづくり学習 (土器・勾玉) ・遺跡に親しむフィールドワーク (主に学校授業、シブノツナイを対象) ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会（11月予定） ＊各種調査、報告書作成に伴う成果速報	講師謝礼 70千円	【学校授業、研修会等の学習機会提供】 ○授業及び展示解説実績（9/30時点） ①ふるさと館JRY 26件489名（内学校：12件207名） ②郷土館 3件80名（内学校：0件0名） ③出張講演 3件106名（内学校：3件106名） ④施設利用 5件145名 【講座等】 (協力) ○遠紋地区議会議長会 日時：7/24 会場：ふるさと館JRY 人数：約80名 講師：ふるさと館JRY 館長 中島一之 (主催) ○令和7年度遺跡調査報告会 日時：11/1 会場：ふるさと館JRY 講師①東京大学 教授 熊木俊朗 講師②ふるさと館JRY 学芸員 林勇介	8-3
	⑥博物館教育(2) 広報・情報提供	年間 —	【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP） ○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）		【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行（湧く湧く内） 4～9月号（184号～189号） ○郷土史に関する質問対応 ・屯田兵祖先調べ、町内の遺跡など	

中期計画推進項目の欄は、第3次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について 関連事業（後援・連携事業）

団体名	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容 等	実績（状況）等	備 考
青少年指導センター	子ども会フットベースボール交流会	7/6（日）	中湧別ゲートボール場	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	参加人数に応じてチーム編成を行い、交流会として、地区対抗戦や地区混合戦を実施。参加人数12名。	
	子ども会リレー駅伝大会	10/5（日）	上湧別百年記念公園		集まった26名を4チームに分けて実施。上湧別百年記念公園を15周（約7.5km）	
	子ども会ミニバレーボール大会	11/9（日）	中湧別総合体育館		10月9日（木）監督会議実施	
	子ども会リーダー研修会	(夏) 7/26（月）～27（火） (冬) R8.3/7（土）～8（日）	五鹿山公園 紋別生涯学習センター		社会教育事業 少年教育参照	
	ジュニアリーダーの養成	年 間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、義務教育学校後期課程・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	青少年指導員：3名 ジュニアリーダークラブ 「CAPTAIN★TEENS」：16名登録 「Rainbow prop」：2名登録 ●第1回子ども会リーダー研修会に係る企画会議3回実施 (5/11、5/31、6/23、7/13) ※7/26～27第1回子ども会リーダー研修会（五鹿山）	
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰	①あいさつ運動②街頭補導③青少年だより発行④優良青少年表彰	補助金 400千円
文化連盟	総合文化祭	展示の部 10/4(土) 5(日)	文化センターTOM (展示)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	■展示発表会 10月4日(土)～5日(日) 文化センターTOM	
		芸能の部 10/26(日)	文化センターさざ波 (芸能)		■芸能発表会 10月19日(日) 文化センターさざ波	
ゆうべつ活性化実行委員会 良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	9/28(日) 19:00	文化センターさざ波	相川七瀬SPECIAL LIVE2025	■日程 9月28日(日)17時開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 375枚 ■入場者数 366名	
		11/8(土) 19:00	文化センターさざ波	半崎美子明日を拓くコンサート2025		
		8/10(日) 15:00	文化センターさざ波	立川春の輔・柳亭小痴楽二人会	■日程 8月10日(日)15時開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 313枚 ■入場者数 310名	
		R8. 2/15(日) 14:00	文化センターさざ波	演劇ONEOR8「ママごと」公演		
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2025	9/7(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。	小学生1年生の部 11名 小学生2年生の部 6名 小学生3年生の部 8名 小学生4年生の部 2名 小学生5年生の部 2名 小学生6年生の部 3名 中学生の部 1名 高校生の部 19名 一般の部 12名 団体の部（4チーム） 12名 合計 76名	教委、スポーツ推進委員も運営協力

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について 関連事業（後援・連携事業）

団体名	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容 等	実績（状況）等	備 考
スケート協会	第56回湧別町スケート大会	R8. 1/31(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、小学生、中学生、一般、アトラクション（宝さがし）		
実行委員会	ゆうべつアクティブチャレンジ2025	9/6（土） ～13（土）	町内	笹川スポーツ財団主催である住民総参加型のスポーツイベント「アクティブチャレンジ」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	■実施プログラム 61団体 3,185名 ■利用施設 17施設 2,838名 ■電話・電子報告 348名 計 6,371名	
	【新規】 稚内高校吹奏楽部合宿	7月	文化センターさざ波	吹奏楽合宿のほか、町内の中学校、高校と合同での演奏会などを開催することと、吹奏楽の普及を図るとともに他生徒との交流を図る。	全道大会の当番校の時期と重なったため中止。	
	駒澤大学合気道部合宿	8月	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定	日程調整の都合がつかず中止。	
	【新規】 合気道木下道場合宿	9/9（火） ～12（金）	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：10名予定	合宿人数7名	
	北柔会道場 湧別合宿	10月	湧別武道館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定	例年、柔道大会終了後に合宿を実施していたが、大会が中止になったため、合宿も中止。	
	第40回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会	R8. 2/22(日)	遠軽町 →湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km		

報告第1号 令和7年度上半期社会教育事業の実施状況について
社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	実績額	備考
上湧別農村環境改善センター	多目的ホール輻射暖房機改修工事	3,830	3,663	6月補正
文化センターTOM	外壁（西側）改修工事	18,100	17,600	
	照明LED化工事	29,700	29,106	
文化センターさざ波	空調自動制御機器ダンパー操作器取替修繕	1,090	1,089	
湧別プール	鉄骨塗装工事	8,740	7,942	
湧別武道館	照明LED化工事	1,960	1,859	
中湧別屋内ゲートボール場	照明LED化工事	5,150	5,115	
芭露パークゴルフ場	乗用芝刈機購入	2,300	1,870	
五鹿山スキー場	圧雪車修繕	2,610	2,602	9月補正
湧別図書館 中湧別図書館	図書館システム購入事業	5,360	38	備品譲渡割賦金 R7 38千円 R8 1,406千円 R9 1,388千円 R10 1,371千円 R11 1,364千円
湧別図書館	温水暖房修繕（R6保守点検時指摘5箇所）	960	957	
ふるさと館JRY	芭露収蔵庫屋根修繕	583	528	

令和7年度 オホーツク管内社会教育振興セミナー開催要項 研修テーマ

『持続可能な社会の実現に向け、地域の可能性を引き出す学びをつくる社会教育のあり方』

- 1 趣 旨 オホーツク管内市町村の社会教育委員が一堂に会し、生涯学習社会の実現に向けて社会教育の実践的な方策を探るとともに、社会教育委員の果たすべき役割について協議し、管内社会教育の振興に資する。
- 2 主 催 オホーツク管内社会教育委員連絡協議会
- 3 後 援 北海道教育庁オホーツク教育局 オホーツク管内教育委員会協議会
オホーツク管内社会教育主事会
- 4 主 管 津別町社会教育委員 津別町教育委員会
- 5 日 時 令和7年11月29日（土） 12時30分～16時30分
- 6 会 場 津別町中央公民館 [住所] 網走郡津別町字豊永5番地1
- 7 参加対象 管内市町村社会教育委員、社会教育関係職員
- 8 研修内容
 - (1) 開会式（表彰）
 - (2) 情報提供
北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課社会教育指導班主査 高橋 枝里子 氏
 - (3) 基調講演
講演テーマ 『地域資源を教育資源として活用するには』
～「観光×教育＝地域づくり」な津別での取り組み～
講 師 特定非営利活動法人 森のこだま 代表理事 上野 真司 氏
 - (4) グループ演習
テーマ 「地域資源を活用して広域連携事業を組み立ててみよう」
～多様な人材とのつながりづくり～
講 評 特定非営利活動法人 森のこだま 代表理事 上野 真司 氏
 - (5) 閉会式（次年度開催挨拶）

大空町社会教育委員長 大井 徹也 様

9 研修日程

12:00	12:30	12:50	13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	16:30	
受 付	開 会 式	表 彰 式	情 報 提 供	基 調 講 演	休 憩	全 体 説 明	グ ル ー プ 演 習	講 評	閉 会 式

- 10 申込み 別紙参加申込書に必要事項を記入の上、11月14日（金）までに、下記へお申し込み下さい。

〒092-0224 網走郡津別町字豊永5番地1

津別町教育委員会生涯学習課社会教育係

TEL 0152-76-2713 FAX 0152-76-2477

E-mail: syakyo@town.tsubetsu.lg.jp

- 11 その他 悪天候及びその他の諸事情のため、研修会を中止（又は延期）する場合があります。

令和7年度 オホーツク管内社会教育振興セミナー開催要項 研修テーマ

『持続可能な社会の実現に向け、地域の可能性を引き出す学びをつくる社会教育のあり方』

- 1 趣 旨 オホーツク管内市町村の社会教育委員が一堂に会し、生涯学習社会の実現に向けて社会教育の実践的な方策を探るとともに、社会教育委員の果たすべき役割について協議し、管内社会教育の振興に資する。
- 2 主 催 オホーツク管内社会教育委員連絡協議会
- 3 後 援 北海道教育庁オホーツク教育局 オホーツク管内教育委員会協議会
オホーツク管内社会教育主事会
- 4 主 管 津別町社会教育委員 津別町教育委員会
- 5 日 時 令和7年11月29日（土） 12時30分～16時30分
- 6 会 場 津別町中央公民館 [住所] 網走郡津別町字豊永5番地1
- 7 参加対象 管内市町村社会教育委員、社会教育関係職員
- 8 研修内容
 - (1) 開会式（表彰）
 - (2) 情報提供
北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課社会教育指導班主査 高橋 枝里子 氏
 - (3) 基調講演
講演テーマ 『地域資源を教育資源として活用するには』
～「観光×教育＝地域づくり」な津別での取り組み～
講 師 特定非営利活動法人 森のこだま 代表理事 上野 真司 氏
 - (4) グループ演習
テーマ 「地域資源を活用して広域連携事業を組み立ててみよう」
～多様な人材とのつながりづくり～
講 評 特定非営利活動法人 森のこだま 代表理事 上野 真司 氏
 - (5) 閉会式（次年度開催挨拶）

大空町社会教育委員長 大井 徹也 様

9 研修日程

12:00	12:30	12:50	13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	16:30	
受 付	開 会 式	表 彰 式	情 報 提 供	基 調 講 演	休 憩	全 体 説 明	グ ル ー プ 演 習	講 評	閉 会 式

- 10 申込み 別紙参加申込書に必要事項を記入の上、11月14日（金）までに、下記へお申し込み下さい。

〒092-0224 網走郡津別町字豊永5番地1

津別町教育委員会生涯学習課社会教育係

TEL 0152-76-2713 FAX 0152-76-2477

E-mail: syakyo@town.tsubetsu.lg.jp

- 11 その他 悪天候及びその他の諸事情のため、研修会を中止（又は延期）する場合があります。

社会教育事業及び関係団体等 予定表

※予定は変更になる場合があります

令和7年11月		令和7年12月		令和8年1月	
1	土	上湧別学園学校祭 遺跡調査報告会(13:30-15:00ふるさと館JRY)	月	木	元旦
2	日		火	金	
3	月	文化の日	水	土	チューリップ生きがい大学⑨「クラブ活動発表会」(10:00-12:00さざ波)
4	火		木	日	
5	水		金	月	
6	木		土	火	ジュニアスケート教室(13:30-15:00芭露スケートリンク)～8日
7	金		日	水	ゆうふいっと。プラス(18:30-20:00湧別総合体育館)
8	土	チャレンジスポーツスクール⑥「バスケットボール1」(10:00-11:30湧別総合体育館) 半崎美子「明日を拓くコンサート2025」(19:00-さざ波)	月	木	↓
9	日	子ども会ミニバレーボール大会(9:00-中湧別総合体育館)	火	金	
10	月		水	土	百人一首教室⑧(13:00-15:00農村センター)
11	火		木	日	令和8年20歳の集い(13:30-さざ波)
12	水	ゆうふいっと(10:00-11:00湧別総合体育館) ゆうふいっと。プラス(18:30-20:00湧別総合体育館)	金	月	成人の日
13	木	チューリップ生きがい大学⑧「レコード鑑賞会」(10:00-12:00さざ波)	土	火	百人一首教室⑤(13:00-15:00農村センター)
14	金		日	水	ゆうふいっと(10:00-11:00湧別総合体育館)
15	土	湧ゆう湧くわく体験塾⑤「風・コマ作り」(10:00-12:00さざ波) 百人一首教室①(13:00-15:00農村センター)	月	木	
16	日		火	金	
17	月		水	土	湧ゆう湧くわく体験塾⑥「氷下釣り」(9:45-芭露川) 百人一首教室⑨(13:00-15:00農村センター)
18	火		木	日	第54回新春交歓カルタ大会(8:45-農村センター)
19	水	ゆうふいっと(14:00-15:00湧別総合体育館)	金	月	
20	木		土	火	チューリップ生きがい大学⑩「映画観賞会」(10:00-12:00さざ波)
21	金	町民大学5回目「坪田敏男」(19:00-TOM)	日	水	ゆうふいっと(10:00-11:00湧別総合体育館)
22	土	百人一首教室②(13:00-15:00農村センター)	月	木	
23	日	勤労感謝の日	火	金	
24	月	勤労感謝の日振替	水	土	チャレンジスポーツスクール⑧「スケート体験・氷上ホッケー」(10:00-11:30芭露スケートリンク)
25	火		木	日	
26	水		金	月	
27	木	ゆうふいっと(10:00-11:00湧別総合体育館)	土	火	百人一首教室⑦(13:00-15:00農村センター)
28	金		日	水	
29	土	百人一首教室③(13:00-15:00農村センター)	月	木	ゆうふいっと(10:00-11:00湧別総合体育館)
30	日	家庭教育研修会(10:00-TOM)	火	金	
31			水	土	第56回湧別町スケート大会(9:00-芭露スケートリンク)